

事務事業名		葛生清掃センター破砕屑処理委託事業					評価区分(事前評価・事後評価)		事後評価(A・B表)		
政策体系	基本目標	1 地域の特色を活かした快適なまちづくり					担当組織	担当部	市民生活部	担当課	クリーン推進課
	政策	3 環境にやさしいまちづくり					担当係	葛生清掃センター		担当課長名	山田 弘
	施策	1 ごみの発生抑制と資源の有効活用					新規事業・継続事業		継続事業		
	基本事業	3 搬入ごみの適正処理の推進					実施計画事業・一般事業		一般事業		
予算科目	短縮コード	会計	款	項	目	予算細事業名					
	8216	一般	4	2	2	葛生清掃センター破砕屑処理委託事業					
	事業区分	市単独事業・国県補助事業		市単独事業							
		任意的事業・義務的事業		任意的事業							
事業計画	単年度繰り返し	事業期間	9年度～ 年度		根拠法令 条例等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律、佐野市廃棄物の処理及び清掃に関する条例		実施方法	一部委託		
							事業分類	施設維持管理事業(市以外が主体)			
							リーディングプロジェクト	該当なし			
							市長マニフェスト	該当なし			

1. 事務事業の現状把握【DO】

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

① 手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)

事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)	平成26年度実績(平成26年度に行った主な活動内容)						
葛生清掃センターに搬入された不燃ごみは、金属類などの資源化物と埋立処分を必要とする不燃物残渣に選別される。更に、不燃物残渣は減容のために粉砕処理し破砕屑となるが、有害物質を含み循環が困難な廃棄物のため、管理型の処分場に埋立をする必要がある。この運搬と最終埋立処分を委託する事業である。	①破砕屑の運搬と最終埋立処分の委託 ②米沢市へ環境保全協力金の支払い						
	活動指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)
	不燃ごみ、粗大ごみの処理量	t	579	557	527	513	499
	委託処理した破砕屑量	t	136	135	124	120	117
	破砕屑の委託処理に要した経費	千円	4,333	4,427	4,601	4,601	4,601

② 対象(この事務事業は誰・何を対象としていますか?)

破砕屑の発生量	対象指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)
	破砕屑の発生量	t	136	135	124	120	117

目的 ③ 意図(この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?)

葛生清掃センターからの破砕屑を法律に基づく構造基準を満たした管理型の処分場まで運搬され、適正な埋立処分をされる。	成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)
	破砕屑の処分量	t	136	135	124	120	117

④ 結果(どのような結果に結びつきますか?)

負荷を与えない適切な処理・処分ができています。	上位成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)
	搬入ごみが中間処理、最終処分において、適正に処理・処分されなかった件数	件	0	0	0	0	0

(2) 総事業費の推移・内訳

事業費 投入量	財源内訳	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)		
	国庫支出金	千円							
	県支出金	千円							
	地方債	千円							
	その他	千円							
	一般財源	千円	4,333	4,427	4,601	4,601	4,601		
	事業費計(A)	千円	4,333	4,427	4,601	4,601	4,601		
	事業費の内訳	千円	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	
			廃棄物処理委託料	4,199	廃棄物処理委託料	4,293	廃棄物処理委託料	4,461	廃棄物処理委託料
			負担金	134	負担金	134	負担金	140	負担金
人件費	人	1	1	1	1	1			
のべ業務時間	時間	208	208	208	208	208			
人件費計(B)	千円	809	820	820	820	820			
トータルコスト(A)+(B)	千円	5,142	5,247	5,421	5,421	5,421			

事務事業名	葛生清掃センター破砕屑処理委託事業	担当部	市民生活部	担当課	クリーン推進課	担当係	葛生清掃センター
-------	-------------------	-----	-------	-----	---------	-----	----------

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	平成9年4月から廃棄物の処理及び清掃に関する法律の埋立基準強化に基づく改善指導により、自区内処分場の確保が困難な状況を受けて処理委託が開始された。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・県などの法令等、社会情勢など)は事務事業の開始時期や合併前と比べてどのように変化していますか？	破砕屑の処分委託にあたっては、契約に基づく業務の終了後であっても委託期間中の不適正な処分が確認された場合、環境省ではその廃棄物の委託者に対してもその搬入量に応じて、復旧の為に経費負担など責任(排出者責任)が追求されるようになった。
③この事務事業に対して、関係者(市民、議会、事務事業対象者)からどのような意見・要望がありますか？	特にありません。

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
現状維持	現状維持により対象外

2. 事務事業の事後評価【Check】

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか？	
	結びついている	理由・改善案 破砕屑の最終埋立処分場を自区内(佐野市内)に確保出来ない実情があり、緊急避難的な対応でやむを得ず搬入先自治体と事前協議の上での処分は、燃えないごみなどの適正処理に結びつく。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事務事業を市が行わなければならないのですか？ 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか？	
有効性 評価	市が行わなければならない	理由・改善案 廃棄物の処理及び清掃に関する法律第4条や佐野市廃棄物の処理及び清掃に関する条例4条により、市は一般廃棄物を生活の保全上支障が生じないように、その適正な処理及び処分(資源化を含む)を行なうことが責務とされている。市民との協働という視点では、破砕屑の処理業務を委託で実施している。
	③対象・意図の妥当性 事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか？	
	妥当である	理由・改善案 ごみの資源化及び減量化処理に伴い発生する破砕屑を、法律や条例に基づき適正に処理する事業のため対象と意図は合っている。
効率性 評価	④事務事業の成果向上余地 事務事業の成果は出ていますか？ 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか？	
	成果向上余地がない	理由・改善案 粗大ごみ処理施設における資源ごみ等の処理においては、その処理量に応じて一定量の破砕屑が発生するので、佐野市内(自区内)に埋立処分場を確保することが出来ない現状では、委託による処分以外に検討の余地はない。
	⑤類似事務事業との統合・連携の可能性 類似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか？ ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか？	
公平性 評価	類似事務事業はない	類似事務事業名 類似事務事業はありません。
	* 類似事務事業があれば、名称を記入	理由・改善案
	⑥事業費・人件費の削減余地 事務事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか？	
総合 評価	削減の余地はない	理由・改善案 事業費の削減については破砕屑の減量を図ることが重要なため、発生抑制、再利用、再生利用などを進め、最後の取り組みとして適正な再資源化・減容化処理を行なっている状況のため削減の余地はない。
	⑦受益者負担の適正化余地 この事務事業の受益者は誰ですか？事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか？	
	現在の受益者負担は適正である	理由・改善案 家庭からごみステーションに排出されるごみは無料であるが、葛生清掃センターに持ち込まれるごみは、その量に応じて手数料を徴収しているため見直す必要はない。
⑧本事業の休止・終了条件(本事業はどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか？)		
現在の葛生清掃センターでの不燃ごみ処理を行わなくなった場合(例えばみかもクリーンセンターで不燃ごみ処理等)、この事業は廃止できる。		

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1) 今後の事務事業の方向性	(2) 改革・改善による期待効果	(3) 改革・改善を実現するうえで解決すべき課題(壁)とその解決策																							
現状維持(従来通り実施)	廃止・休止の場合は、記入不要 ×の領域は改革改善ではない。																								
* 評価結果に基づいた改革改善案を記入します。 (複数ある場合は、①②・・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。)	<table border="1"> <tr> <td colspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持		○	×	低下		×	×	
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上																								
	維持		○	×																					
	低下		×	×																					